

交流の扉

平成17年度 伊万里市内の国際交流の動き

4月

- ・大連市科学技術協会農業視察団来伊（劉 国強部長一行6名）
- ・大連市人事局訪問団来伊（王 元新副局長一行3名）

6月

- ・伊万里市国際交流協会総会

7月

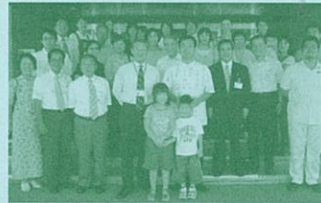
- ・政治協商会議遼寧省大連市委員会訪問団来伊（潘 麗栄副秘書長一行5名）
- ・初級韓国語教室開講（講師：俞 華濬さん、夜のみ32名、半年間24回）

8月

- ・日韓友情年2005記念「日韓親善少年スポーツ交流事業」開催（韓国釜山市へ 伊万里市スポーツ少年団）

- ・日韓友情年2005記念「玄海人交流音楽祭」開催（玄海人クラブ）

- ・ふるさと再発見 青少年育成国際交流事業「JC教室2005INサイパン」開催（伊万里青年会議所）



①たくさんの市民に見送られての帰国となりました

- ・大連市公務研修生 潘 毅さんが1年間の研修を終えて帰国 写真①



②現 ALT、後列左ニモさん/アメリカ、右ロスさん/カナダ、前列イエンさん/シンガポール

- ・ALT(外国語指導助手)3名中1名交代（離任：カナダ 着任：アメリカ）写真②

9月

- ・大連市幹部代表団来伊（大連市顧問 于 学祥氏一行7名）
- ・伊万里市国際交流協会主催「国際交流ひろば」開催（ドイツ、イギリスの講師、市内小中学生等61名）

- ・大連市科学技術協会農業技術セミナーへ講師派遣（田中光夫氏、小松正喜氏が農協組織や作物栽培について講演）



③中国大連で「伊万里梨」「伊万里焼」をPR

- ・大連市にて「伊万里フェア（新高梨・伊万里焼販売）」開催 写真③

- （伊万里・アジアネットワーク事業、一行7名）

- ・伊万里市代表団が大連市を訪問（市長一行7名）

写真④

10月

- ・日韓親善「佐賀大学留学生交流事業～焼物の歴史探訪～」(伊万里日韓親善協会) 写真⑤



④大連市人民代表大会常務委員会主任 李永金氏(大連市前市長)との会見

11月

- ・大曲敦さん(平戸史談会会員)講演会「日韓関係認識のズレと誤解」(伊万里日韓親善協会) 写真⑥



⑤大川内山の風景をバックに

- ・大連市外事弁公室交流視察団来伊(王 洪俊主任一行2名)

12月

- ・胡弓演奏と中国映画「再見—また逢う日まで」上映会開催(伊万里市中友好協会)

- ・大連市公務研修生 朴 福秋さん来伊(一年間) 写真⑦



⑥歴史を交えながら日韓交流を語る大曲敦さん(市民図書館)

- ・在住外国人との交流「第13回国際交流の夕べ」開催(いまりSGG) 写真⑧



⑦今日から1年間、私も伊万里市の一員です。よろしくお願ひします



⑧クリスマスを前に交流会で盛り上がりました(伊万里公民館)

2月

- ・初級中国語教室開講（講師：朴 福秋さん、昼23名、夜24名、各半年間24回）

3月

- ・新北九州空港開港記念 大連市観光旅行団来伊（JTB・大連市共催）

もっと知ろう、世界のこと、地球のこと

国際交流ひろば

外国の料理を実際に自分たちで作りながら、外国の文化に触れてもらう趣旨で毎年行われているのが「国際交流ひろば」です。今回は、募集定員をこえる小・中学生からの応募があり、彼らの国際理解に対する興味が大きいことを実感しました。



講師のお二人（左ジョーさん/イギリス、右マルティンさん/ドイツ）

講師は、イギリス、ドイツからのお二人で、子供たちの打ち解け方は早く、皆一生懸命に外国の料理に取り組んでいました。外国の人と接するときのコツを自然に身につけているようです。我々いまり

SGG(善意通訳者の会)のメンバーもお手伝いをさせていただきましたが、言葉よりも大事なものがあることを教えられた一日となりました。

この日は、イギリスの「羊飼いのパイ」とドイツの「ロールキャベツ」を作ることになり、身振り手振りを交えながら教えてもらい、昼食には自分達で苦労して作った料理と飲食業組合の方々によっていただいた日本料理を美味しくいただきました。その後は場所を移して、2カ国の地理、歴史、言葉などをたくさん教えてもらいました。



ボランティアの協力で、ひとつずつ学習します

みんなで協力して、おいしい料理に挑戦!



イギリスのゲームに夢中になりました

参加した子供たちが、必ず近い将来、伊万里市の親善大使になってくれることを期待しています。

「国際交流ひろば」運営委員会座長 梶山博敏
(いまりSGG(善意通訳者の会)会長)

今、交易の扉を開く～「伊万里・アジアネットワーク事業」

伊万里・アジアネットワーク事業は、経済成長著しいアジア諸国に近いという地理的優位性を活かしながら、伊万里ブランドを活かしたアジアとのビジネス戦略など、行政はもちろんのこと、民間団体、あるいは大学等の参画を得て、世界に向けた「人・モノ・情報」の交流拠点を目指す事業を推進しています。

昨年9月には、本市と18年間の友好交流を続けている中国・大連市において、「伊万里フェア」と題し「伊万里梨」「伊万里焼」の販売促進フェアを開催しました。

伊万里梨は一昨年から販売を継続していますが、1個約1,000円という日本の2倍近い価格にもかかわらず、好調な売れ行きでした。なかには、1人で20～30個を一度に購入される方や昨年からのリピーターも現われるなど、日本の高級果実として認められてきていると実感しています。



伊万里焼の展示風景

一方、「伊万里焼」については、高額な商品ということもあり、売上は伸びなかったものの、輸出した商品の中で一番高価な商品が売れるなど、これからの海外販路の開拓に向け、手ごたえを感じました。

また、今回は、「伊万里フェア」の強力な応援団として、伊万里市長自ら大連市を訪問してのトップセールスを行いました。大連日報新聞の1面に写真入りで大きく取り上げられるなど、伊万里のPRに絶大な効果があったようです。その甲斐もあって売場には、これまで伊万里市と関わりのあった多くの方々が「新聞で見ましたよ」とわざわざ駆けつけてくださるなど、大連市との長年に渡る友好交流が実ったひとコマとなりました。

〈伊万里・アジアネットワーク事業推進委員会事務局：伊万里市開発推進課〉



市長によるトップセールス
2005/9/28大連日報1面

今、世界では戦争、飢餓、貧困、災害、環境問題など多くの課題があります。みなさんが気がつき、交流することから始まる解決の道もあるかもしれません…。

JC教室2005 INサイパン

「若い芽を大きく伸ばそう世界まで！」をテーマに、8月25日～29日にかけて、北マリアナ諸島サイパン島で、市内小中学生17名の参加により「JC教室2005 INサイパン」を実施しました。

サイパン島に着いて、現地のウェルカムパーティでは、歌や剣道を披露しました。また、現地の学校での「平和サミット」への参加や中部太平洋戦没者慰霊碑での慰霊祭、バンザイクリフでの献花・黙禱、マンアムコセンター(老人デイケアサービスセンター)での交流会などをしました。

サイパンでは、戦時中の大砲の跡や多くの日本人が身を投じたバンザイクリフの青い海、戦争で生き残ったサイパンに住む老人の話などを実際に見聞することで、子どもたちは平和の大切さを心に刻んだことでしょう。

マンアムコセンターでの交流会では、素焼きの皿を持ち込み楽焼を行いました。楽焼を通じて現地の方たちに、伊万里を焼物のまちとして紹介することは、子どもたちにとっても伊万里が焼物のまちであることを再認識できるよい機会になったと思います。

また、2泊3日のホームステイでは、各家庭に2～3名が

滞在し、異文化に触れる体験をしました。滞在中の内容は家庭によってさまざまでしたが、さよならパーティではみなさんが再会を誓い合っていました。

ほとんどの子どもたちは、5日間も家族と離れて過ごすのは初めてのことで、不安と楽しみが入り混じりながらの出発だったと思います。家族と一緒にならば、荷物の持ち運びもチケットの管理も親任せだったでしょう。今回は親元から飛び出している5日間で、自分に自信がついたようです。家庭から一歩踏み出し多くの経験をする中で、広い視野を持つ子どもが一人でも増えてくれればと願っています。

世界平和(家族、会社、まち、国など、自らが属する世界の平和)を我々は望んでいます。現実には多くの困難があります。今回のような交流事業などを通じて、自分の世界から一歩飛び出すことで、いろいろな角度から物事を見る力を養ってもらい、自分のことだけでなく、周囲を思いやる人の多く住むまちにしていければと思います。

伊万里青年会議所 前田くみ子
(JC40周年記念事業プロジェクト委員会委員長)



サイパンに到着! 緊張と期待で胸がいっぱいです



南国のステキなホテルに女の子たちは大ハシャギ!



バンザイクリフでの献花・黙禱



はにかみながら握手、マンアムコセンターでの交流



さよならパーティーでのホストファミリーとのひととき



帰国。みんなひとまわり大きくなりました



ホームステイ先のお父さんと固い握手! 何を約束したのかな?

「人が、山が、伊万里が、大好きです!」

私が伊万里で暮らすようになって、もう3年になり、そんなにも時間が経ったのかと信じられません。東京に着いたのがつい昨日のように思われます。飛行機に乗って、乗換えなどでカナダの首都オタワから東京まで22時間もかかり、その時は故郷との距離を感じました。

日本に着いて3日間、目が回るほどの忙しさで入門オリエンテーションを受け、また飛行機に乗って、やっと佐賀に着きました。空港から県庁までのバスに乗っている間に緊張してきました。県庁で今後の上司になる人と会うことになっていたからです。バスの窓から何を見たのかあまり覚えていませんが、緑いっぱいの田園風景が印象に残っています。緑の素敵な風景を見てカナダの故郷を思い出し、少し安心しました。

伊万里は田舎だと言われますが、私の故郷の方がもっと田舎です。人口200人ぐらいのとても小さなトリドという村です。二つの店と二つの教会、学校が一つあるだけなので、若者には面白くなさそうな所だと思う人が多いでしょう。でも、私の子供のころはゲームセンターではなく森や湖、野原でいっぱい楽しく遊びました。

カナダの東側にはロッキー山脈があり世界でも有名ですが、トリドから約4700キロも離れているので、トリドの周りには山と呼べるものが全くありません。伊万里でたくさんの友達ができましたが、一番良く違う友達は「山」です。毎朝仕事に行くときは朝日を浴びながらあいさつしてくれて、帰る時にも立派な姿を見せてくれます。大自然が大好きな私にとって、伊万里は極楽です。伊万里の人にとって、そこに山があるのは当たり前のことかも知れませんが、実は素晴らしいことだと思います。



子どもたちの笑顔に心が温かくなります

私は、ALT(外国語指導助手)として中学校で英語を教えています。優しい先生たちと一緒に働き、教育委員会の方々にもお世話になりながら、自分はなんて幸運なのだろうと思っています。この仕事をしていて一番の楽しみは、生徒に会うことです。生徒たちの笑顔で元気に挨拶してくれると、心が温かくなり、私も微笑んで挨拶を返します。いつまでも生徒たちの笑顔を忘れないでしょう。

この3年間、人に出会ったり言葉という文化を学んだりした経験の中でも一番価値があると感じたのは、「Home」というのは今居る場所であり、「Friends」とは回りにいる人たちだということです。私と伊万里の人との間には言葉の壁があり、文化の差も大きいですが、共通していると思う部分もたくさんあります。とても親切にしてくれた伊万里の皆さんに大変感謝しています。本当に、いつもありがとうございます。

ロス・ストラーズさん(カナダ)
(ALT(外国語指導助手))

★伊万里市国際交流協会とは

(Imari International Exchange Society)



- 設立：平成元年3月に市内の主な事業所・市民団体で設立
- 主な目的：伊万里市と世界の関係都市との間で産業をはじめ教育・文化・スポーツ等の交流を進め、民間での活動を広く盛んにすること
- 活動：この目的を実現するために、協会会員が協調しながら、世界に開かれたまちづくり活動に取り組んでいます

伊万里市	伊万里市観光協会	伊万里金融協会	タクシー協会西部支部
伊万里市議会	伊万里商工会議所	伊万里市区長会連合会	㈱名村造船所伊万里事業所
伊万里市教育委員会	J A伊万里	伊万里市地域婦人連絡協議会	佐賀県経済農業協同組合連合会
いまりSGG	久原工業クラブ	伊万里市文化連盟	宗政酒造㈱
伊万里市日中友好協会	伊万里陶磁器工業協同組合	伊万里市子ども会連合会	伊万里情報センター㈱
伊万里ライオンズクラブ	伊万里商店連合会	伊万里市スポーツ少年団	国際協力の会M I S
伊万里ロータリークラブ	波多津漁業協同組合	伊万里市小中学校校長会	伊万里日韓親善協会
伊万里西ロータリークラブ	伊万里旅館組合	伊万里市体育協会	(順不同)
国際ソロプチミスト伊万里	伊万里飲食業組合	伊万里有田地区医師会	平成18年3月1日現在
伊万里青年会議所	伊万里機械金属工業会	伊万里建設業協会	37団体で運営しています